

# 町民スキー大会に雪の精鋭集う

朝方や天候が悪かったものの次第に回復してスキー日和となった二月二十三日、町営嘉瀬スキー場において第三十四回金木町民スキー大会が開催された。

## 町民スキー大会入賞者

### ◇アルペン

#### ▽小学校男子

大会は田中勇治町長の開会あいさつ、今誠康県議会議員の来賓祝辞のあと、金木小学校六年竹内俊光君が元氣一杯選手宣誓し、競技に入った。

#### ▽小学校女子

第一位 松川 兼吾(嘉小)  
第二位 鳴海 雅文(金小)  
第三位 棟方 広樹(嘉小)

#### ▽中学校男子

第一位 沢田 春陽(嘉小)  
第二位 吉崎久実子(嘉小)  
第三位 鎌田 樹里(嘉小)

#### ▽中学校女子

第一位 白川 豊仁(金中)  
第二位 大橋 央佳(南中)  
第三位 秋元 秀雄(金中)

#### ▽小学校

第一位 今 ひとみ(南中)  
第二位 白川 勝信(金木)  
第三位 今 義律(嘉瀬)

#### ◇ジャンプ

第一位 工藤 文久(藤枝)  
第二位 原田 雅仁(嘉小)  
第三位 今 正秀(喜小)

#### ▽小学校

第一位 川倉小Aチーム  
第二位 喜良市小Aチーム  
第三位 嘉瀬小Aチーム

第一位 原田 雅仁(嘉小)  
第二位 今 正秀(喜小)  
第三位 沢田 幸一(嘉小)

第一位 小野 啓之(南中)  
第二位 原田 靖大(南中)  
第三位 伊藤 春樹(南中)

第一位 大橋架早男(喜小)  
第二位 鳴海 和実(嘉小)  
第三位 山中 潤哉(嘉小)

第一位 川倉小Aチーム  
第二位 嘉瀬小Aチーム  
第三位 川倉小Bチーム

第一位 金木南中Aチーム  
第二位 金木南中Bチーム



▲西村万吉会長

## 金木町子ども会 育成連合会が全国表彰

お手玉を作ってくれたお年寄りたちと共にお手玉遊びに挑戦。なかなかうまくいわずに悪戦苦闘、お年寄りが四つのお手玉を使って見本を見せると「すごいねー！」と言う声があちこちからあがるなど和気あいあい楽しい一日を過ごした。

学校側でも来年もまた開ければと検討中とのことであり、子供たちとお年寄りのふれあいの場が多くなるようです。また、手作りのお手玉は終了後学校に寄附されました。

金木町子ども会育成連合会(西村万吉会長)にこのほど、会員がよく協力して明日に生きる日本の子どもたちの健全育成に尽力し、その活動が他の模範となった功績が認められて社団法人

人全国子ども会連合会より表彰状が贈られた。▽金木町子ども会育成連合会加盟単位数三十単子  
金木地区 十五単子  
喜良市地区 十三単子  
嘉瀬地区 二単子

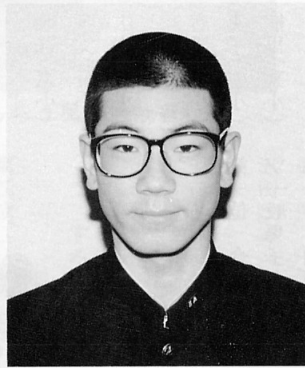
# 海外交流遣唐使訪中団

## 当町から中学生4人が参加

### 北京、万里の長城、西安、上海など研修



山中一成君



野呂佳央君



田中一貴君



田中祐平君

#### 訪中三月二十七日から八日間

町と町働く少年のための基金運営委員会は、このほど町保健センターにおいて、中国に研修に行かれる中学生四名を招いて「海外交流遣唐使訪中団」激励会を開いた。

「金木町働く少年のための基金」事業は、毎年「励ます会」を開催しているが現代は国際感覚にあふれる人材の育成が求められている時代であり、また、青森県ユネスコ協会より遣唐使訪中団募集があったのを機に町負担で「働く少年」を対象に募集したところ金木中学校二年の田中祐兵君と田中一貴君、金木南中学校二年の野呂佳央君と山中一成君が参加派遣となった。

激励会では田中勇治町長が「歴史のある国で学ぶことが多くあると思います。全てについて学んでください」と、沢田茂町働く少年のための基金運営委員長が「これからの町発展は若い人たちの力がいります。一生懸命勉強してきて

ください」と挨拶。そして古川角雄教育長が「身体に気をつけて見聞をひろめてきてください」と激励の言葉をかけた。

それに対し自己紹介にたった田中祐平君らが「選ばれたことをうれしく思い、がんばってきます」と決意を述べていた。

#### 日程

三月二十七日

成田空港発  
北京泊

三月二十八日

北京泊

三月二十九日

北京泊

三月三十日

西安泊

三月三十一日

西安泊

四月一日

上海泊

四月二日

上海泊

四月三日

上海発

成田空港着

以上七泊八日



海外交流遣唐使訪中団激励会

# 一人暮らしもこれで安心 福祉安心電話設置



▲電話の対応に出る能登谷さん。

町では今年度一人暮らし老人の生活上の不安を解消するため、福祉安心電話二十台を一人暮らし老人宅に設置した。  
設置第一号となった金木川端町の能登谷きみゑさん宅には、電話の運用を委託される町社会福祉協議会や緊急電話の受信先となる県社会福祉協議会の方々が訪問、使い方などを指導していた。

福祉安心電話は、突然具合が悪くなった場合などの緊急時に、身につけているペンダント式の発信機を押すと本部のある県社協に電話回線がつながり、さらに県社協から近くに住む福祉安心電話協力員に電話がかかって派遣する仕組み。また普段の生活で困ったことが起きた場合なども、ポタソ一つで町社協に電話がかかり、いろいろな問題に対処してくれることになっている。

この福祉安心電話は、平成四年度にも二十台設置することになっている。  
福祉安心電話は、突然具合が悪くなった場合などの緊急時に、身につけている

# 青森地方法務局 小泊出張所が 金木出張所へ統合

平成四年三月三十日(月)から小泊村・市浦村の管轄登記所が変わります。  
小泊出張所↓金木出張所  
今まで小泊村・市浦村に所在する土地・建物の登記や会社など商業・法人の登記は、青森地方法務局小泊出張所で行われておりましたが、本年三月三十日(月)から青森地方法務局金木出張所で行うことになり、御利用下さい。

したがって、本年三月三十日以降は、不動産・商業及び法人等の登記申請や各種の謄本・抄本・証明及び印鑑証明等が必要なきは金木出張所へ請求又はお越し願います。  
なお、小泊村並びに市浦村の役場の窓口には、「謄本・抄本等交付申請書」用紙及び「登記申請書書式例」を備え付けておりますので御利用下さい。

したがって、本年三月三十日以降は、不動産・商業及び法人等の登記申請や各種の謄本・抄本・証明及び印鑑証明等が必要なきは金木出張所へ請求又はお越し願います。  
なお、小泊村並びに市浦村の役場の窓口には、「謄本・抄本等交付申請書」用紙及び「登記申請書書式例」を備え付けておりますので御利用下さい。

## 国民年金

◎4月から  
保険料が変わります◎  
第一号被保険者と任意加入被保険者が納付する国民年金の保険料の額が、平成四年四月分から一ヵ月九、七〇〇円に変わりました。

ただし、付加保険料の額はこれまでどおり四〇〇円のままです。  
基礎年金の支払いに要する費用は、みなさんの負担する保険料、各被用者年金制度からの拠出金、国庫負担で賄われていますが、平均寿命の伸びとともに増えている年金受給者や物価スライドによる年金額の引き上げにより、この費用が年々増加しているための措置です。

保険料は安く、年金額は多いにこしたことはありませんが、長期的に安定した年金制度とするために、給付と負担のバランスを図りながら、みなさんの負担が急に重くならないように段階的に引き上げられています。

ご理解をお願いします。  
◎老齢福祉年金を受け取ったら、国民年金証書を提出しましょう◎  
四月期分の支払いを受け取ったら役場国民年金係にと家庭調停委員の制度があります。  
参与員は、家庭裁判所から指定されて、名の変更、戸籍訂正、遺産分割、子の監護者の指定などの家事審判事件を担当し、裁判官が事件について適正妥当な判断ができるように、審判に立ち会って意見を述べたり、事件の記録を審査してこれに基づき意見を提出するなどとして、裁判官の手助けをします。

## 裁判所広報

家庭裁判所には、参与員と家庭調停委員の制度があります。  
参与員は、家庭裁判所から指定されて、名の変更、戸籍訂正、遺産分割、子の監護者の指定などの家事審判事件を担当し、裁判官が事件について適正妥当な判断ができるように、審判に立ち会って意見を述べたり、事件の記録を審査してこれに基づき意見を提出するなどとして、裁判官の手助けをします。

国民年金証書を必ず提出してください。  
これは、物価上昇に伴い増額した、新年金額での四月分から七月分までの支払い金額を平成四年八月期支払い欄に記入するためです。証書の提出を忘れていると八月期支払い分の受け取りが遅れることがあります。また、他の公的年金を受けている人は、その年金額改定通知書も必要ですから忘れず添付してください。

家庭に関する事件については、一般社会の各分野から、紛争の解決に有用な専門的知識又は豊富な経験をもち、徳望良識のある人が参与員や家事調停委員として選ばれて活躍しています。参与員と家事調停委員の制度の趣旨は、このように市民が司法に参加して、その良識や経験を審判や調停に反映させることにあります。

緑の羽根募金運動

じゆんじゆんから森林づくりに参加しよう

—— 緑をこれからの世代に残していくために ——

長かつた冬も終わり、若葉が芽吹く季節になりました。

茶色一色であった景色が、少しずつ緑色に変わつていきます。生命の息吹を改めて感じさせてくれる季節です。

この「桜前線」ならぬ「緑前線」の北上に合わせて、現在、街頭をはじめ、さまざまな所で緑の羽根募金が行われています。もう募金はされましたか？

緑の羽根募金に寄せられた皆さんの募金(浄財といひます)は、集められたそれぞれの地域の緑化活動に使われます。ちよつと周囲に目をやってみてください。校庭の緑、公園の緑、道路沿いに植えられた木々の緑……わたしたちの心を和ませてくれるこれらの緑の多くは、緑の羽根募金によつて集められた皆さんの浄財で植えられたものです。

浄財は、このような植樹をはじめとする国土緑化に使われるだけではありません。緑を大切にしようという「緑化意識」を皆さんにもつてもらふための普

及・啓発事業などにも使われています。

その一つに、緑の少年団員の育成があります。街頭で募金を呼びかけている子どもたちの多くは、この緑の少年団のメンバーです。緑の少年団は、子どもたちの自主的な団体です。その活動目的は、緑とのふれあいを通して、緑を愛し、守り、育てる心を養うことにあります。

わたしたちの暮らしや

地球全体を守っている緑

緑の羽根募金は、昭和二十五年に始められました。当時山々は、戦争や戦後の復興のために



木が切られ、ほとんど丸裸の状態でした。この丸裸の山に木を植えようと始められたのが、この緑の羽根募金の運動です。それから四十年以上たちました。裸であった山々には木々が

立派に育ち、緑が潤っています。台風などによる被害も以前に比べると少なくなりました。山の木々が土砂崩れや洪水を防いでくれているからです。森林は、わたしたちの暮らしを支える木材資源を提供してくれるだけでなく、わたしたちの暮らしを守ってくれています。

最近、地球環境の問題をよく耳にします。その一つが地球の温暖化の問題です。二酸化炭素の増加が、その大きな原因と考えられています。なんと森林は、その二酸化炭素を固定し、地球の温暖化を防ぐ働きもしているのです。森林は、わたしたちの暮らしはもちろんのこと、地球全体を守ってくれています。

人と緑との関係について  
この機会に見つめ直そう

緑で潤っている山々を見ると、さわやかな気持ちになります。しかし、森林はいま大きな問題を抱えています。木は生き物ですから、当然、植えた後の世話が必要です。大きく育てて、木材資源として活用するまでには、長い時間と手間がかかります。その森林の世話をする人が少なくなつてきているのです。ふだんの生活では、森林の大



切さをとかく忘れがちです。森林は、空気や水と同じように、なくなつて初めて……なのでしょう。か。そうなるからでは遅すぎます。

森林を守り育て、これからの世代に残していくのは、わたしたちの務めです。二十一世紀の森林づくりのために、わたしたち一人一人が森林を自分のものとして考え、それぞれの立場で可能な方法で、森林づくりに参加していくことが求められています。

あなたの気持ちを、この緑の羽根募金に託してください。そして、この機会に、わたしたちと緑との関係について家族や職場の人たちと話し合つてみてください。

みんなの力で豊かな森林を育てましょう！

# 金木町名木

場所 金木沢部  
 樹種 クロマツ  
 樹齢 450年 (推定)  
 幹の周囲 2m 41cm (胸高)

一里塚の松としては黒石市以北では唯一の木といわれている



## 金木社協川柳会

二月句会

うそ話少し混じえて嫁貰う	岩田 重美
嘘呑んでいよいよ据る妻の腰	高橋 けん一
友の嘘わかって少し貸してやる	中西 昭治
磨かれて力と技の大殊勲	成田 チセ
靴磨き靴に愚痴云う倦怠期	泉谷 てい
壺磨く祖父に古武士の姿見る	沢田 かおる
世歩きのじょうずへたにも金したい	櫛引 八千代
肥満体今日も痩せたい一万歩	木田 忠雄
健康法歩くことにも金かかる	米谷 よう一
愚痴を言う妻の鬼にも豆を撒く	北川 せつ女
甘言に乗って己の首を締め	原田 喜一郎
合格で人生の節目無事通る	白川 哲子

※投句歓迎します。

詳しくは役場内金木町社会福祉協議会まで

# 金木病院カルテ

⑦③

## 「足底部が痛い」

外科医員 飯沼俊信

足底部は、他の部位に比し皮膚の角層が厚く、たこ、うおのめ、といった限局性の過角化を生じる疾患の好発部位です。今回は、足底部に発生するこれら小腫瘤の鑑別法及び治療法についての話です。まず、たこ(胼胝)ですが、これは皮膚に慢性的物理的刺激が加わり生じる炎症反応の結果表皮の肥厚と過角化が生じたものです。正常の表皮角層が厚くなったにすぎないため、表皮の蹠紋状態は周辺の皮膚と特に変わりがありません。痛みがある場合は50%サリチル酸含有テープ(スピール膏)を数日間貼って軟化された厚い角層を掻き

落とすことで治療します。次にうおのめ(鶏眼)ですが、これはたこと違い、中心に固い角質の芯を持ちこれを囲む周囲角層も厚くなったものです。この角質芯が乾燥硬化し、歩行時に圧迫されることで足底に激痛を生じます。刺激により角質の芯の下の表皮組織は十分な成育分化ができず、不完全角化のまま新たな角層を形成し芯構造に加わることになり、さらに下の組織を圧迫するという悪循環を生じます。たことの肉眼的相違点は表皮の蹠紋がそこで消失し肥厚した角層中央に確実に角質芯が見られる点です。足に合わない

きつすぎる靴を履いた場合に生じやすいので履物への注意も必要です。治療は、やはりスピール膏を用い周囲の肥厚した角質を含め角質芯までを完全に削除することですが、通常は一回で根治させることは困難で、スピール膏貼付↓角質切除の操作を数回反復してはじめて角質芯の完全削除が可能となります。足底部はまた、いつも物理的に刺激(圧迫)されるためメラニン産生細胞の悪性化である悪性黒色腫の好発部位でもあります。こちらについてはまた別の機会といたしましょう。

## 戸籍の窓

2月届出分

金木町に住所を有している方を掲載しています。

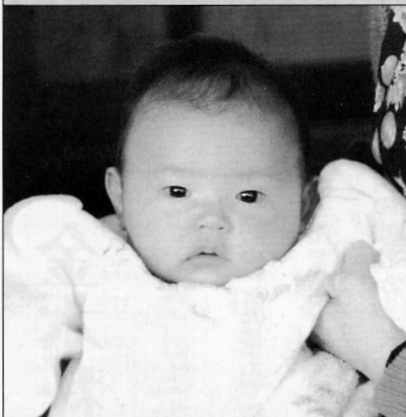
おめでとう

おしあわせに

白川 大悟(正) 蔭田  
 齊藤 大貴(一) 嘉瀬  
 原田 和希(勇) 金木  
 工藤 愛美(輝光) 藤枝  
 山崎 勇也(年廣) 金木  
 白川 唯依(覚) 金木  
 前田 拓也(友昭) 川倉  
 真藤 拓麻(隆男) 金木  
 坂本あずさ(直弘) 金木

伊藤 博文(紘造) 五所川原市  
 泉谷かおり(勉) 川倉  
 おくやみ  
 工藤 光雄(63歳) 金木  
 澤田 春彌(81歳) 嘉瀬  
 白川 登(57歳) 金木  
 角田 影三(63歳) 金木  
 白川岩次郎(88歳) 川倉

## はじめまして



だ い ご  
大 悟ちゃん

2月1日生まれ

体重 3,280g

蔭 田

白川 正さんの2男



ま な み  
愛 美ちゃん

2月10日生まれ

体重 3,308g

藤 枝

工藤 輝光さんの2女